

♪ 2022年度 *poco a poco* ♪

Nr. 25 2023年2月13日(月)

文責:プファイル・辰巳

## 2月も半ばになって・・・

寒いけれど青空が見える。そして一日一日、日が長くなっていくのが分かる。春はまだ遠いですが、確実に近づいてきているのが感じられる今日この頃になりました。春を呼ぶ祭り、カーニバル(ファッシング)ももうすぐですね。どんな仮装をしようかと考えている人もいるでしょう。

楽しいこともありますが、中学部は学年末テスト、小学部のみなさんも1年間の学習のまとめをする時期でもあります。卒業や転出を控えている人たちにとっては、残り少なくなってきた本校での貴重な日々となります。「なんとなく」過ごすのではなく、一日一日を大切にしたいなと願っています。

## 音楽鑑賞会の感想文から・・・

<小学部1年生>

きょうの音がかんしょうかいで、えじりなみさんが手をうごかすのがはやかかったです。あと、目をつぶってひいていて、すごかったです。ほんとうに目をつぶってたのでしょうか、とおもうぐらいじょうずでした。

ぼくが一番すきなうたは、「エリーゼのために」です。なぜかという、リズムがよくて、きもちがよかったからです。目をつぶってもできていて、すごかったです。アンコール



のきよくがおだやかで、ねむりそうでした。ねるときにききたいです。

えじりなみさんの「トルコこうしんきょく」をひくときの手は、すごくはやかかったです。ぼくもひけたらいいなと、おもいました。あと、「はるのうみ」をひくのもすごくじょうずでした。そしてしゃく八でひくきょくを、どうやってひくのかと、どきどきしてきていました。

ぼくにとっては、はじめてのピアノのえんそうかいでした。ピアノがじょうずで、本もののさつきよした人のようでした。手のうごきがはげしかったです。またききたいです。

<小学部2年生>

音楽かんしょう会がありました。ぼくが一番心にのこったことは、ゆびのはやきのことです。「トルコ行しんきょく」や「子犬のワルツ」や「春の海」とかは、ゆびがとてもはやくて、それ以外のきょくは、なめらかでした。きょくにあわせてきれいな音をだして、すごかったです。目をつぶってきょくをひいていて、本当の作きよした人とかがひいているようでした。

音楽かんしょう会がありました。わたしが、一番心にのこったことは、ピアニストのえじりなみさんの顔です。目をつぶって、思っていることをピアノにうつしているように、わたしは思いました。そしてなみさんが、ピアノをひきながら、ピアノの音にのって、ゆれていました。「いっぱいひけるようになったら、楽しそうだな。」と思いました。

わたしが一番いんしょうにのこったのは、モーツァルトの「トルコ行しんきょく」です。なぜかという、えんそうしているときに、手がものすごくはやくうごいていたからです。わたしは、「トルコ行しんきょく」を聞いているとき、「こんなながいきょくを、どうやっておぼえるんだろう。」と思いました。

ぼくが一番心にのこったのは、「ブィード ヴォ」です。なぜかという、どのきょくよりも、そうぞうがついて、ようすを考えただけで、なみだが出そうなくらい、かなしみの気もちがつたわってきました。けれど、音色がうつくしかったです。

### <小学部3年生>

えじりなみさんは気持ちをこめてピアノをひいていたので、なみさんの気持ちがつたわってきました。ひとつひとつの悲しい曲や楽しい曲をひく時に、きょうじゃくをつけていたので、すごいなと思いました。後、ひとつひとつの音がはっきり聞こえてきました。それに、なみさんのひょうじょうを見て、なみさんが気持ちをこめてひいている様子が分かりました。とてもよかったので、また聞きたいと思いました。

えじり南美さんが、あんなはやい「トルコ行進曲」をひくなんて、すごいなと思いました。そして「春の海」の曲を聞くと、小さいころ日本の海で遊んだころを思い出しました。どれもピアノでひけるなんて、すごいなと思いました。

えじりな美さんのひくピアノの音は、ただ速くひくだけではなく、ひとつひとつの音に気持ちがこもっていました。わたしもな美さんのように、速くひくだけではなく、気持ちがこもったきよくを、ひけるようになりたいです。また、な美さんのえんそうを聞きたいです。

速くなったり、ゆっくりになったりしていて、いい音が聞こえて、うっとりしてしまいました。とてもようすにぴったりなえんそうができていて、どんなようすか想ぞうできました。わたしもえじりさんのように、ピアノをはやくひいてみたいです。

### <小学部4年生>

わたしは、江尻さんのえんそうを聞いていて、とても楽しかったです。なぜなら、江尻さんのピアノのひき方は、曲のひとつひとつにすごく合っていて、聞いているだけだけど、その曲の場面が思いうかんできたからです。そのまま曲をひいても、曲はそのままです。でもその曲にアクセントを加えることで、曲はもっとかがやくと思うからです。それにひいている江尻さんも楽しそうだったからです。

本物のピアニストがひいているのを生ではじめてみました。はく力があって、なによりも手の動きがはやくて、すごかったです。ピアノの音を聞いていたら、心がおちついてリラックスできました。「トルコ行進曲」では、ぼくのよく知っているきよくですが、えじり

南美さんのひょうじょうが楽しそうで、スラスラひけて気持ちよさそうでした。

指がとても速く動いていて、びっくりしました。そして目をとじると、じょうきょうが頭にうかんできました。わたしがとくに心にのこったのが、ショパンの「かくめい」です。ポーランドを思うショパンの心が表れている、すばらしい音楽だと思いました。

なめらかな曲は、心がおだやかになるような曲でした。速い曲は、いやな気持が全てふきとぶような、いせいのいい曲でした。曲の中でも「エリーゼのために」は同じ音をくり返したりしていたし、ゆっくりで、聞いていて気持ちがゆるやかになりました。

※第2部(小学部5年生以上)の感想文は、次号で紹介します。

### 3学期ミニコンサート、出演希望受付中!

申し込み締め切りは2月20日(月)です。よろしくお願いします。

### ちょっとだけ 演奏会情報

< フランクフルト オペラ劇場の3月の演目より... >

Oper für Kinnder : Carmen (子どものためのオペラ「カルメン」)

※オペラ座のロビーにて開催

3月11日(土) 13:30と15:30

14日(火) 16:00

18日(土) 13:30と15:30

21日(火) 10:30と16:00

22日(水) 10:30と16:00

モーツァルトのオペラ「魔笛」 3月26日(日) 19:00

31日(金) 19:00